

Nikon

2👩3👨年の
ありたい姿

もし、人が今まで行けなかった場所で
創造することができたら？



もし、生物をお手本にした技術で
地球にやさしい社会をつくれたら？



もし、機器が医師をサポートすることで
治せなかった病を治せたら？



もし、現実の制約を超えた仮想空間で自由に学ぶことができれば？



未来の選択肢を
広げよう。

不可能を可能に変える。
ニコンはその決意とともに
人の可能性を伸ばす技術の実現を目指して
歩み続けてきました。

この先どんな未来を望むかは
人それぞれで、常に変化しています。
だから、多様な価値観に応えられるよう
無数に広がる選択肢をつくりたい。
創造の領域を広げ、
新しいものや考え方が
自由に生まれる場所をつくりたい。

人と機械が共創することで
これまでにない価値や選択肢が生まれ、
選んだ未来を、自分を、肯定できる。
そんな社会を目指します。



2030年のありたい姿

人と機械が共創する社会の中心企業

100年以上の歴史を通じて培った技術とともに、
ニコンは新しい領域に向かいます。

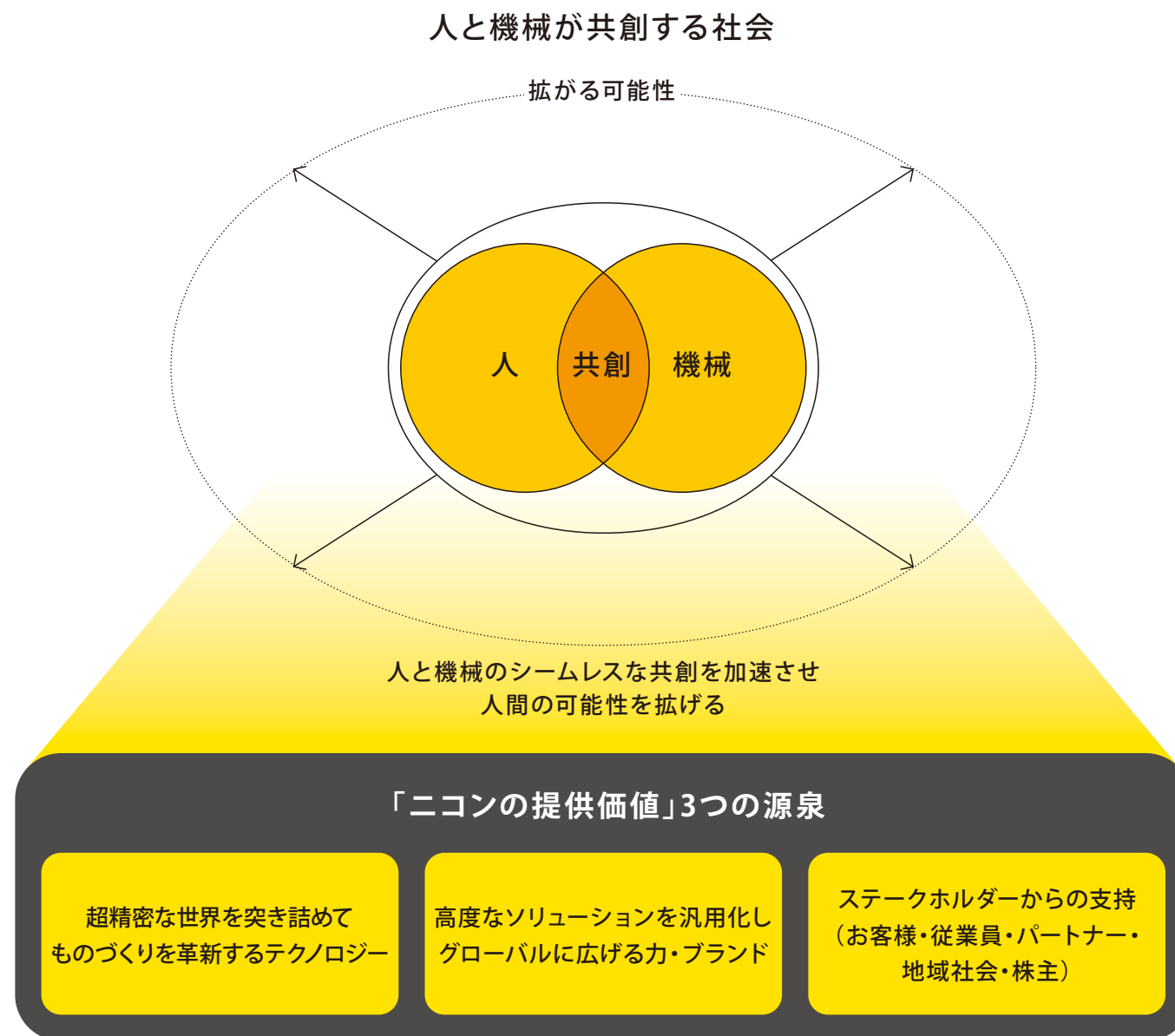
ものづくりの現場から学び、その仕組みを変えていく。
エネルギーの効率化で、サステナブルな社会をつくっていく。
医療現場と向き合い、健康を支える技術を追求する。
映像空間を発展させ、日常の体験をアップデートする。

人と機械の距離を縮め、創造をもっと自由に。
共創から生まれる新しい価値を、広く社会に届けていきます。

未来の社会に向けたニコンの提供価値

人の創造性がさらに引き出されたり
サステナブルな環境づくりが促進されたり、
人と機械が共創することで多様な豊かさを感じられる。
そんな社会が目の前に広がっています。

ニコンはそこから新たな広がりを生むために、お客さまが求める本質を理解し
未来起点による提案で社会に貢献することが必要だと考えます。
連綿と磨いてきた「超精密なテクノロジー」という強みを生かし、
完成品だけでなく、コンポーネントやサービスが
一体となったソリューションを提供することで、
人と機械が共創する社会の中心企業を目指します。



2030年までに予想される社会変化とニコンの価値提供領域

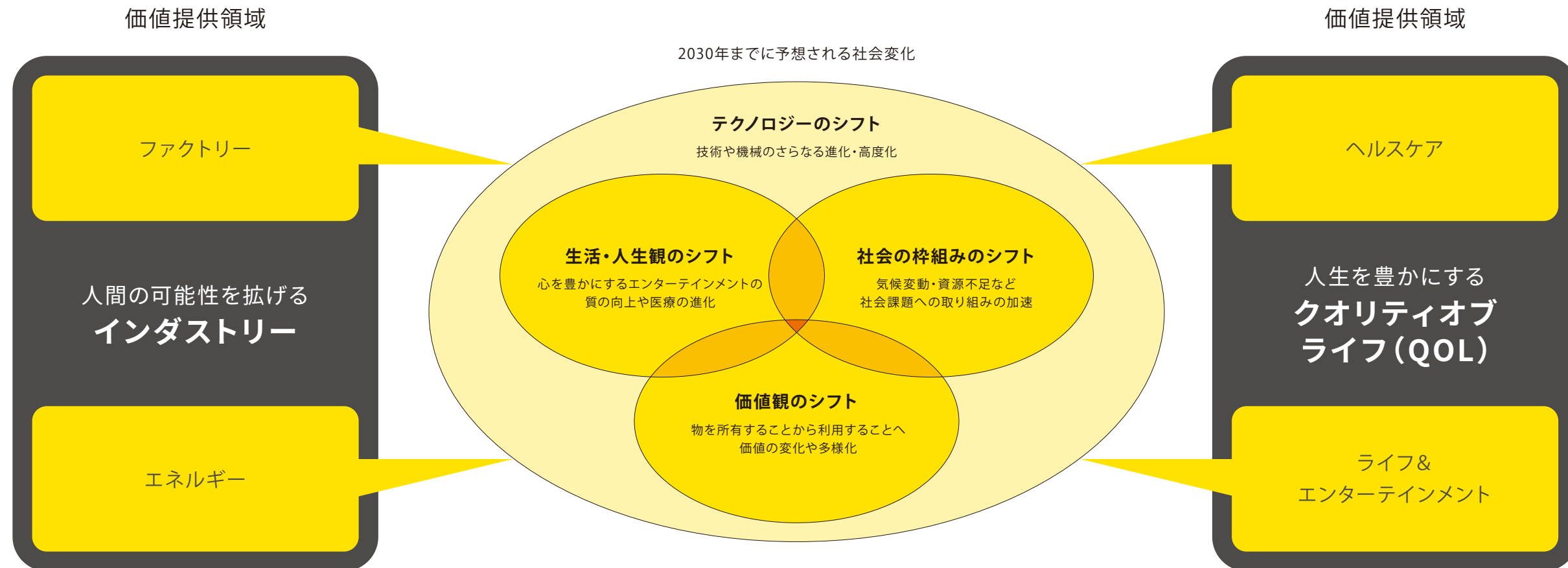
2030年には、テクノロジーの進化により、社会に大きな変化(メガシフト)が訪れると予想されます。

そこで生まれてくる多様な社会ニーズを見極め、時代を先取りしながら、

ニコンは2つの価値提供領域で社会に貢献していきます。

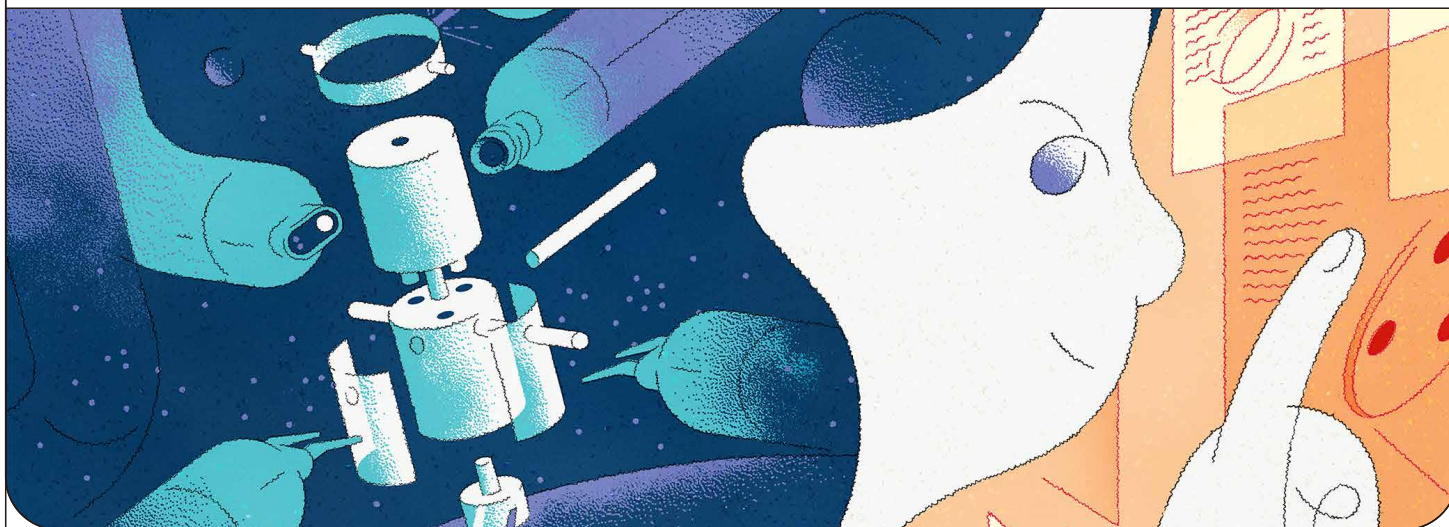
機能的価値から意味的価値の追求へ

技術革新による労働時間の短縮や社会の枠組みの変化によって、生活のための労働から自己実現のための仕事へと、目的は移行していくことが予想されています。意味的価値への期待が高まるなか、さまざまな価値観に応え、多様な価値を提供していくことが求められます。



ファクトリー

人と機械の連携が進む社会を、超精密技術で支える。



多様なニーズに対応した自由なものづくり

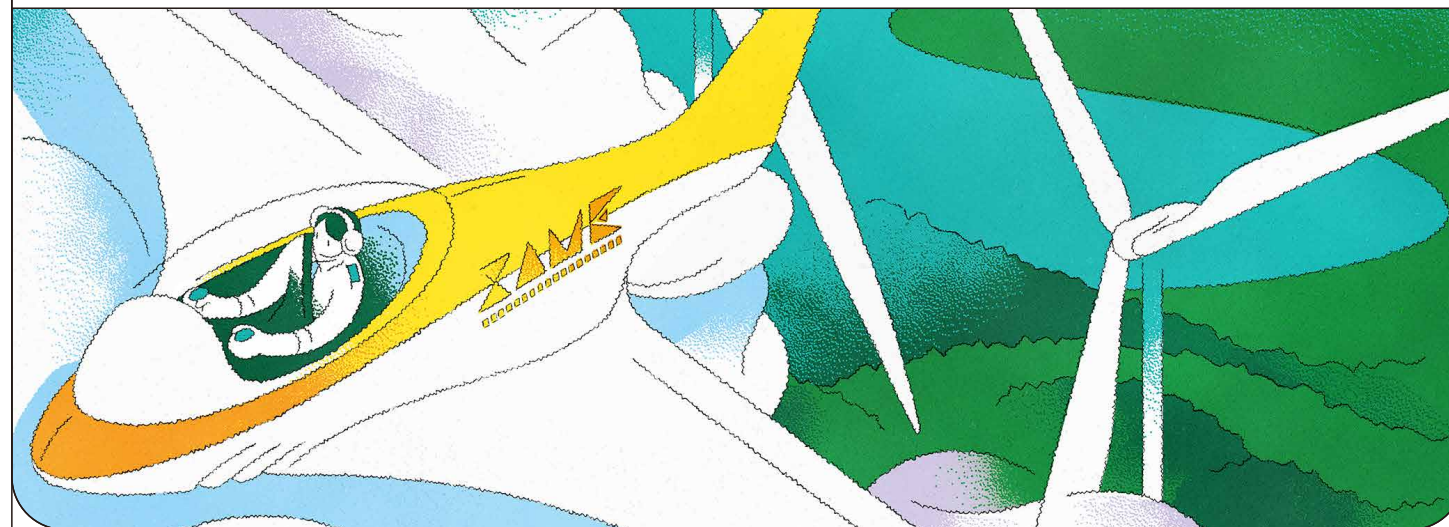
お客様の好みや社会のニーズに合わせて多様な製品をお届けするために、光を工具として扱ったものづくりを推進。加工サイズの制限や場所の制約をなくし、多品種変量生産を負担なく実現できる社会を目指します。さらに今後発達していく通信技術も利用し、宇宙や深海などこれまでは難しかった場所での創造の可能性も広がっていきます。

これからの労働環境をロボットの高度化で変えていく

人が働く環境を快適にし、働くことを充実したものにするために、人の目を遥かに超える動体視力システムや、素早く滑らかに動く関節などを開発することで、ロボットの高度化に貢献していきます。高度化したロボットが人の作業を代行することで、人を事故のリスク等から解放し、過酷な環境でのものづくりも可能にします。

エネルギー

脱炭素や資源循環の実現を目指す社会を、革新的なものづくりで支える。



革新的な加工技術でエネルギー効率を高める

サメの肌からヒントを得た「リブレット」と呼ばれる微細構造を製品の表面に施すことで、空気や水の抵抗を減らし、エネルギー効率を高めます。現在視野に入れているものは、航空機や風力発電の羽、船舶から家電製品まで幅広く、加工する対象を広げながら燃料消費とCO₂排出量の削減に貢献します。

リユースの輪を広げる

長年使用することによって摩耗・侵食されるタービンブレードなど、技術者がいなくては補修が難しかったものを、光学技術や精密制御技術を利用した金属3Dプリンターで手軽に直せるよう環境を整え、リユースを促進していきます。

ヘルスケア

一人一人最適な治療を受けられる社会を、創薬や再生医療の分野で支える。



再生医療と個別化医療をすべての人へ

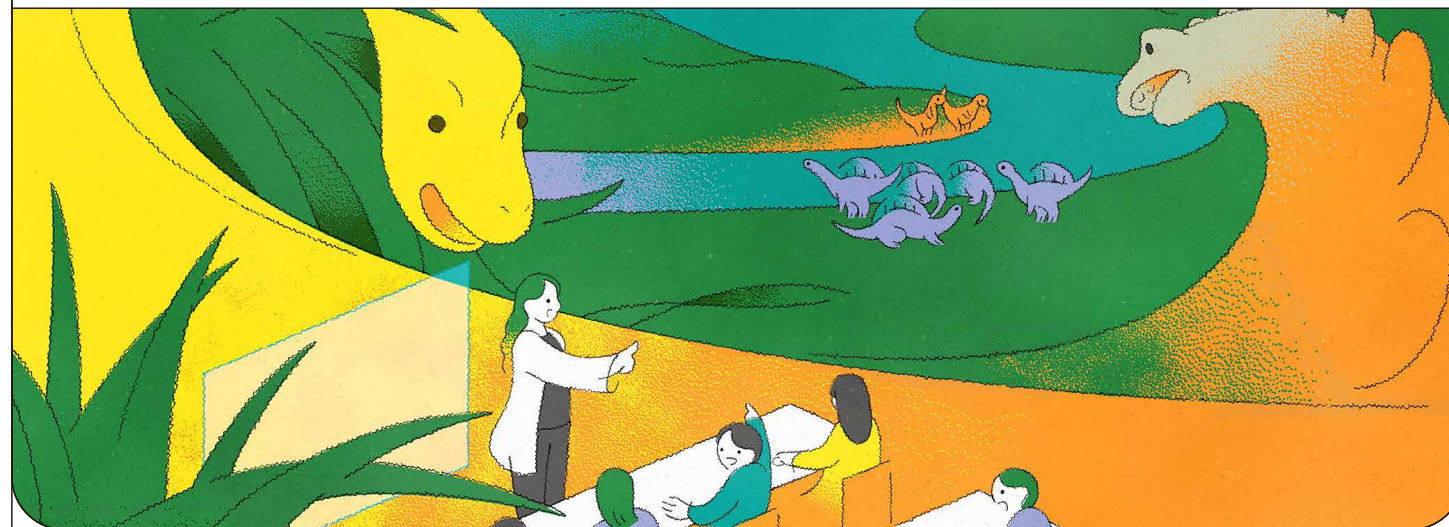
ニコンが長年培ってきた「細胞を観察し、評価する」という技術やノウハウを通じて、製品開発や研究を支援し、再生医療の発展に貢献します。また、再生医療と並行して個別化医療も推進していきます。同じ病気を抱えていても、体質によって必要となる治療は様々です。その人の体質や病気のタイプを正確に解析する検査を普及させ、患者にとって最適な治療を提供できる社会の実現に貢献します。

病気の早期発見を助ける

早い段階で病気の芽を見つけるため、医師の診断を人工知能(AI)によって支援するシステムの開発を推進。無自覚のまま悪化してしまう事態を防ぎ、早期治療につなげることで命を守れる未来を目指します。

ライフ&エンターテインメント

時間・空間を超えて人がつながる社会を、映像制作の面から支える。



VR/MRで学習体験を変えていく

現実と変わらないリアルな学習空間を提供し、遠隔での教育や危険な作業、緊急時の対処法の研修をサポート。仮想空間で実践して学ぶことで学習効果を高めるほか、学ぶ機会をより多くの人へ届ける環境づくりを推進します。

新たな映像表現の探索

一部の人が扱えなかった3D/4D技術を、誰でも簡単に扱えるようツールの開発を進め、より多くの人々が映像制作にふれられる機会を生み出します。また、クリエイターと手を取り合い、表現の構想を具現化する技術を提案し、これからの映像文化をともに創造していきます。

おわりに

機械は環境の一部であると言っても過言ではないほど、わたしたちの生活に溶け込み、暮らしを支えています。近年では介護用ロボットやペットロボットが導入されはじめ、人のストレスレベルを下げたり、ユニークな会話で場を明るくしたりするなど、利便性だけでなく人の心を癒す役割まで担うようになってきました。機械はより身近になり、関係性においても深い存在となってわたしたちの行動や考え方に影響を及ぼしています。

機械が人の生活や技能を補助する一方で、人には人にしかない能力があります。抽象的な思考や創造的な発想は人だけのものです。人と機械、異なる性質を持った二者が相互に作用すれば、化学反応を引き起こし、新しい創造が生まれるはずで、共創による新しい価値を提供していくこと、それがこれからのニコンの役割です。人と機械の共創によって拓かれた世界では、今までの常識や発想を大きく超えるような発見があるかもしれません。そんなことにも期待を寄せています。わたしたち自身も創造を楽しみながら、ニコンは次なる時代の価値を求めて、新たな領域に向き合っていきます。

中期経営計画資料では、これからの方針と具体的な戦略を紹介しています。

詳しくはこちらをご覧ください。



中期経営計画

